

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

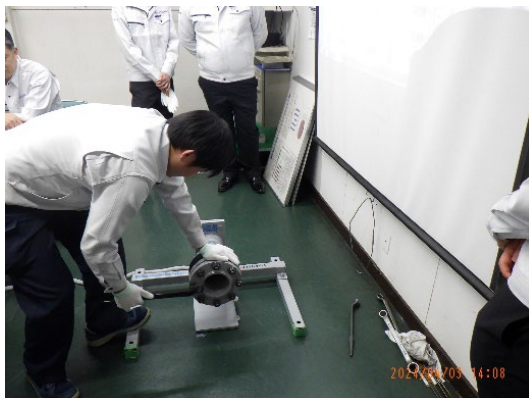
新入社員導入教育

今年度の新卒新入社員は、4月1日の入社式後から4月4日まで、導入教育を通じて社内のルールや基礎知識を学びました。座学だけでなく実技実習も織り込み、コミュニケーションゲームを通じて「言葉だけで正確に伝えることの難しさ」も学びました。昨年度キャリア採用で入社した社員も座学の一部を受講し、基礎知識の確認の機会となりました。

(担当部署：総務部 077-534-0956)



LAN ケーブル性能評価



実技実習

ボルト締結シミュレータ



「初歩のCSR」



座学

コミュニケーションゲーム

セキュリティ理解度テストとセキュリティ教育

毎年東レエンジニアリング 情報システム部門基盤システム部が実施するセキュリティ理解度テストを、当社従業員も受けています。このテストは、標的型フィッシング攻撃の特徴や対応方法、社内の電子記録媒体に関する運用ルール、セキュリティ事故発生時の対応などに関するもので、全従業員を対象としています。

2022年度の理解度テスト後に、社内で電子情報セキュリティに関する教育を2か月かけて行い、全従業員が受講しました。

2023年度も対象者全員がセキュリティ理解度テストを受けました。前年度の教育の成果もあり2023年度の結果は、2022年度のテストと比較して、当社全体の平均点が7%アップしました。

2024年度も引き続き全従業員を対象として電子情報セキュリティ教育を実施し、知識向上とセキュリティトラブルの防止に努めます。

(担当部署：情報システム部 077-534-0956)



保全事業 豆知識 11 『配管修理 UV 硬化型漏洩補修材』

生産現場には多くの用役配管があります。

配管の劣化によりピンホールが発生し用役が漏れ出すトラブルはどここの工場でも珍しくありません。

従来は、配管を新品に交換するまでの間、応急的に処置を行うには、デブコンやアーロンテープで対応していましたが、デブコンでは定着するまでに時間がかかり、アーロンテープでは配管のコーナー部だとうまく密着せず応急的な処置が行えず悩んでおりました。

そこで、見つけ出した物が UV 硬化型漏洩補修材の Leakaid(リークエイド)です。

特徴としては、UV 照射により 1 秒で硬化すること、流動性が良くどんな箇所でも処置ができることです。

リークエイドを使用した結果、作業時間が 1/3 程度になり生産課への設備の引き渡しが早くなり、作業効率化改善ができました。



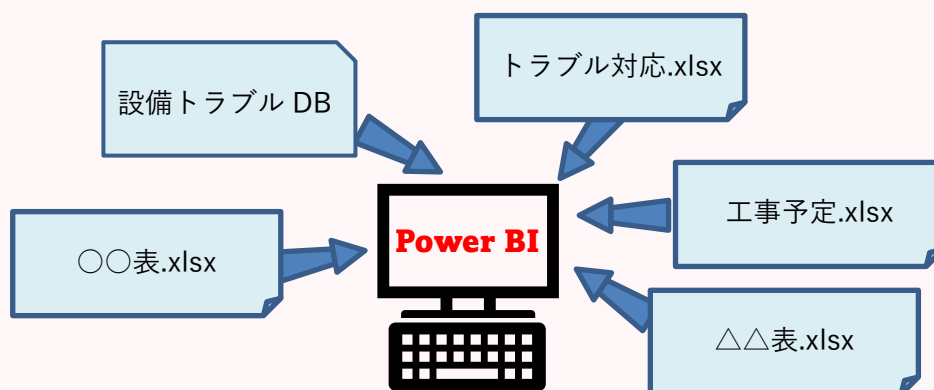
*写真：カーケミ・ラボより引用 <https://carchemi-lab.jp/products/detail/145>

ちりつも作戦⑭ DX 化による業務効率化 Power BI の活用（滋賀保全事業部）

トランプ'Sサークルでは、定期的にミーティングを行い、設備トラブルの情報やトラブル対策の進捗状況について、情報を共有しています。

ミーティングでは、設備トラブルのデータベース、トラブル対応フォロー表、工事予定表など、各種アプリや多くの資料を使用していました。そのため、複数のメンバーで編集してしまい保存が重複したり、ファイルが重く開くのに時間がかかるなど、スムーズにミーティングが進みませんでした。

そこで、各種のデータを Power BI に統合し、一つの画面からデータを参照できるように、改善しました。ファイルを開く時間を短縮することができ、スムーズにミーティングが行えるようになりました。また、ファイルを編集・保存する際の重複も防ぐことができました。



* Power BI : Microsoft社が提供するツールで、データを取り込み、グラフや表にまとめることで、データの分析や情報共有をスムーズに行うことができます。